

さとうきびにおけるアオドウガネの防除対策について

アオドウガネは幼虫がさとうきびの根を食害するため減収や株出不萌芽の原因となったり、発生が多い場合はさとうきびを枯死させたりします。幼虫はイネ科植物を宿主とし、法面や雑草地にも生息しており防除が非常に困難です。そのため、アオドウガネの防除は地域全体で取り組むことが重要です。

1 発生状況

- (1) H27 年3月上旬に行った伊平屋村内のさとうきびほ場の堀取り調査で 0.1～2.4 頭/株の幼虫が確認された(図1)。
- (2) 伊平屋村の可動式ライトトラップによる調査の結果 8,240 頭/トラップ (H27 年5月 26 日～H27 年8月 21 日現在)の成虫が捕獲された(表1、図2)。

2 生態

- (1) 成虫の体サイズは 17～26mm で、テリハクサトベラ、リュウキュウコクタン、ヤエヤマアオキ(ノニ)、オキナワキョウチクトウ、レイシ、テリハノブドウなどの葉を集団で摂食する(図3)。夏植ほ場に多く産卵する。
- (2) 成虫は、先島地域では5～8月に、沖縄本島では5～9月に地上に出現し産卵する。
- (3) おおむね6～8月に卵から1齢および2齢幼虫、9～11 月には3齢幼虫となる(図4)。12 月から黄熟期に入り、3月に蛹になる。

3 防除対策上注意すべき事項

- (1) 収穫後に更新する予定のほ場は、幼虫及び蛹を防除するために早期に碎土する(1～3 月)。
- (2) 若齢幼虫を防除するため、培土時に粒剤を処理する(5～7月)。
- (3) 成虫を防除するために5～8月に誘殺灯を設置し大量誘殺による防除を行う(5～8月)。

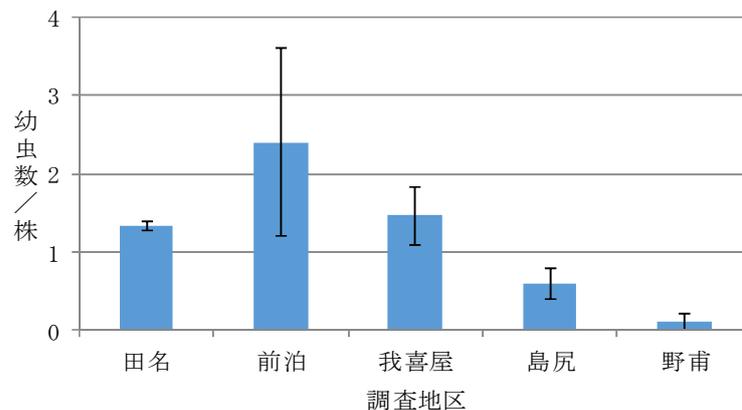


図1 伊平屋村における幼虫の発生状況

表1 伊平屋村におけるアオドウガネ成虫の捕獲数

回収日	5/27	6/2	6/8	6/11	6/17	6/24	7/6	7/9	7/23	7/25	8/10	8/21	合計
我喜屋	21	70	528	352	866	943	1,182	404	670	300	524	389	6,249
前泊	31	84	128	390	1,414	1,497	2,264	544	1,231	590	792	1,265	10,230

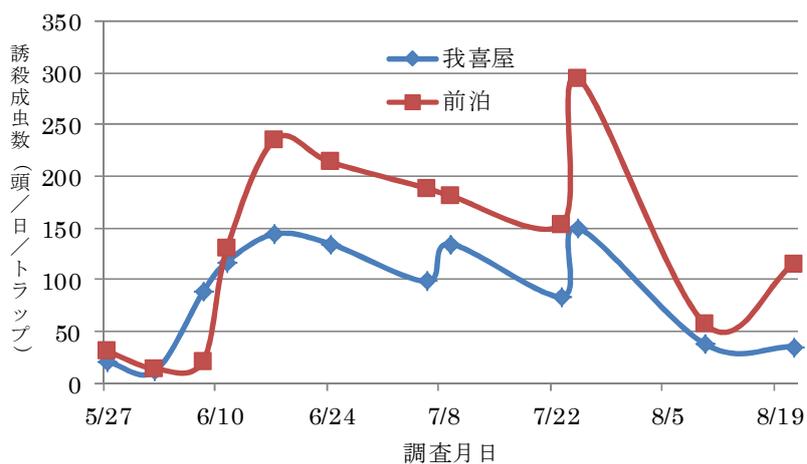


図2 伊平屋村におけるアオドウガネ成虫の発生活長



図3 アオドウガネ成虫



図4 アオドウガネ幼虫

★詳しくは沖縄県病害虫防除技術センターにお問い合わせ下さい★
 TEL : (本所)098-886-3880、(宮古駐在)0980-73-2634、(八重山駐在)0908-82-4933
 ホームページアドレス : <http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichuboj/index.html>